

シルバー人材センター 設置に向けて調査・研究を



宮城 寛諄 議員

答 これまでの取り組みの活用で対応する

問 本町の人材活用事業は、社会福祉協議会と、町で実施している事業がある。現在の取組の充実を図りたいと、以前に答弁があった。町民の要求に十分に応えられているだろうか。町と社協と窓口を一つにしてはどうか。

副町長 今後も社協のファミリーサポートセンター事業、まちづくりサポートセンター、町の人材サポートセンターの活用と充実を図ることで対応したい。

問 現在のままでは新たな事業はできないのではないかと。南城市や八重瀬町などのシルバー人材センターでは、研修や技能講習会、就業分野の拡大、独自事業、社会活動参加などを行っている。本町もシルバー人材センターの設立に向けて調査・研究してはどうか。

副町長 シルバー人材センター設置に向けての調査・研究は、現段階では考えていない。



草刈りの技能講習会（南城市シルバー人材センター）

道路事業における 補償費の返還を問う

問 町道3号線を挟んで西側は補助の対象となったが、町は東側も事業の一体化ということで補助の対象とすべきと判断して補償した。ところが、国は道路に支障のない東側の補助はできないと返還を求めた。事前に対象外と分かった場合でも、町の単費で補償し事業を進めたか。

副町長 町は原則として取得用地内における物件等が補助の対象とすべきという見解であった。補償範囲の一部が国の補助対象外となった場合でも、町の単独事業で進めていたと考える。

問 国への返還1221万6千円程が町民負担となる。26年度にも不発弾処理事業のミズで補助金が交付されないことが起きている。これらの事態は町当局に大きな責任がある。町長はどう責任をとるか。

副町長 町民の皆様及び議会へ大変なご迷惑をおかけしたことに深くお詫びしたい。